

平成22年6月18日

生命システム科学特別講義

下記のとおり招聘講師による生命システム科学特別講義「分子生命科学」を開催いたしますので、受講大学院生以外にも興味のある方は（学部生も可）ご参集くださいますようにご案内申し上げます。

記

日時：平成22年7月21日（水曜日）

午後1時～午後2時半

場所：宇品キャンパス1247講義室

遠隔授業：庄原キャンパス2201講義室

講師：東京大学医科学研究所 所長

癌・細胞増殖部門腫瘍細胞社会学分野 教授

清木 元治（Motoharu Seiki）

—がん転移のキーを担うマトリックス
メタロプロテアーゼ—

細胞を取り巻く微小環境の変化は細胞機能に大きな影響を与えます。細胞外環境は多くの異なる仕組みで制御を受けていますが、プロテアーゼはこの様な制御システムの重要な一角を担っています。なかでも、膜型マトリックスメタロプロテアーゼ（MT1-MMP）は、主としてコラーゲンをはじめとする細胞外基質（extracellular matrix, ECM）の分解に関与する蛋白質分解酵素で、細胞の増殖と運動の制御因子として、骨の形成、癌の増殖と浸潤、血管新生などに必須の役割を果たしています。MT1-MMPは、その強力な細胞機能制御活性の故に、酵素の発現、活性制御と不活化、局在などきわめて厳密な制御を受けており、その仕組みの解明は、当該分子の機能制御を可能にして、がんをはじめとする種々の疾病治療への革新的な応用の糸口を与えています。本講義では、その最先端研究について紹介していただきます。

連絡先：庄原C（5303）達家雅明